

平成19年3月分および平成18年度 徳島県の販売電力量について

需要の概要

【3月分】

平成19年3月の販売電力量は、5億3千6百万kWh時、前年比99.0%となった。

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、暖冬の影響などから、前年比94.7%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は電灯同様暖冬影響から、前年比99.5%となった。

産業用の「大口電力」は、化学の減はあったものの、紙・パルプの自賃振替などの影響から、前年比105.0%となった。

【平成18年度累計】

平成18年度の販売電力量は、64億4百万kWh時、前年比99.7%となった。

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、暖冬の影響などから、前年比98.8%となった。

〔平成19年2月の徳島市の平均気温は8.8。これは、1892年統計開始以来、2月としては1番目の暖かさ。〕

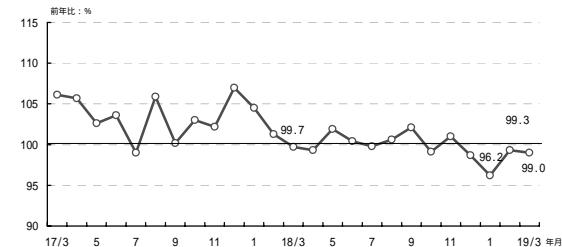
事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様の気温要因はあったものの、需要数が堅調に増加していることなどから前年比102.4%となった。

産業用の「大口電力」は、鉄鋼の減はあったものの、紙・パルプ、機械などが堅調に推移したことから、前年比100.6%となった。

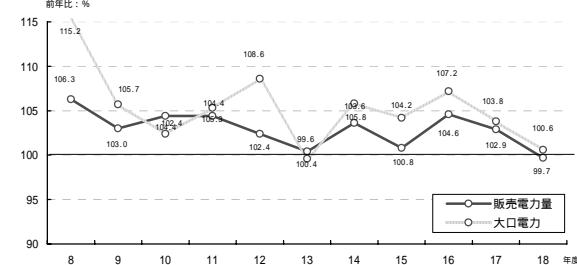
需要実績

	電力	当月分		18年度	
		電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	163	94.7	1,930	98.8
	電 力	34	90.2	451	93.5
	計	197	93.9	2,381	97.7
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	99	99.5	1,235	102.4
	産業用電力	241	103.4	2,789	100.5
	うち大口電力	(201)	(105.0)	(2,300)	(100.6)
	計	339	102.3	4,023	101.0
	販売電力量計	536	99.0	6,404	99.7

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 販売電力量と大口電力の前年比の推移



(参考3) 徳島市平均気温

	19/2月				19/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実績	8.2	9.1	9.4	8.8	9.8	7.3	13.5	10.3
平年差	2.8	2.6	3.0	2.7	2.0	1.8	3.0	1.1
前年差	3.1	2.3	1.1	2.2	2.0	0.8	3.9	1.8

(参考4) 18年度夏季・冬季の徳島市平均気温

	夏季				冬季			
	7月	8月	9月	平均	1月	2月	3月	平均
実績	26.4	28.9	24.1	26.5	7.6	8.8	10.3	8.9
平年差	0.1	1.5	0.2	0.6	2.2	2.7	1.1	2.0
前年差	0.3	1.0	1.5	0.3	1.8	2.2	1.8	1.9